【技術分類】４－４－２　筐体関連／基板・音響・その他／不正防止装置
【技術名称】４－４－２－１　センサー

【技術内容】
遊技球の動きに外部から不正に影響を与える行為として、磁石を使用して遊技球の軌跡を変化させたり、遊技台を叩いたり揺するなどして振動を与える手法が存在する。特に役物内の特定領域に遊技球が入賞することで特賞が発生する遊技機に関しては、これらの不正行為の影響が非常に大きい。そのため、磁石の使用や、台に振動を与える不正行為を防止、または発見するために、遊技機とは別に、センサーを設置して不正対策がとられる場合がある。振動を感知するセンサーや、磁石の使用に反応するセンサーを設置し、これらを検知した場合には、特賞ランプの点滅や警告音を発することで、不正が行われたことを周囲に告知する。これによって不正行為の発見と、抑止を狙うものである。また、このようなセンサーを予め遊技機に内蔵した機種も登場している。

【図 1】振動センサーおよび磁石センサー搭載

振動センサーおよび磁石センサーが内蔵されており、遊技台に振動を与える、または磁石を盤面へと接近させると、枠ランプが点灯すると同時に警告音を発し、不正行為が行われたことを周囲に告知する。

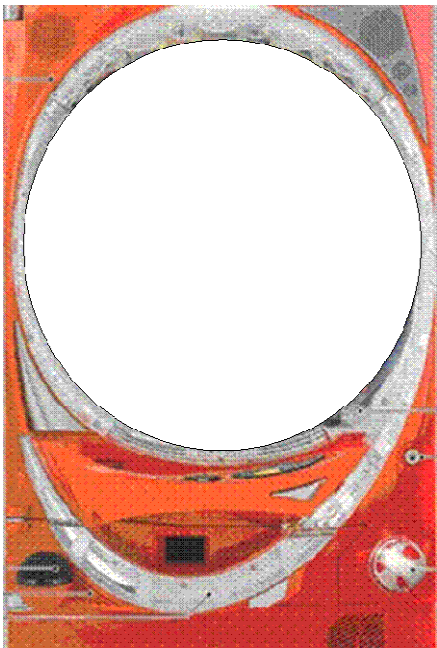
出典：株式会社大一商会ホームページ
「トップページ＞機種情報＞パチンコ＞チビ太のここで一発※1＞スペック」
http://d777.jp/machine/pachinko/chibita/spec/index.html
検索日 2007 年 1 月 18 日

【出典機種】
ＣＲチビ太のここで一発※1 Ｊ１０：株式会社大一商会

※1「チビ太のここで一発」：株式会社大一商会の登録商標

【技術分類】４－４－２　筐体関連／基板・音響・その他／不正防止装置
【技術名称】４－４－２－２　ベニヤ防犯

【技術内容】
遊技盤はベニヤ板などの合板で出来ているため、「ベニヤ」と称される場合があり、遊技盤に対する防犯のことをベニヤ防犯と呼ぶ。
パチンコの盤面に対する防犯対策としては、セルや針金、ピアノ線等に代表される不正部材の進入経路を遮断することが最も重要となる。対策手段としては、１：不正防止部材の挿入、2：継ぎ目やすき間をなくすように一体化構造を採用する、3：継ぎ目やすき間にあたる部分から盤面までの距離が遠くなる枠の設計を行なう、4：すき間や継ぎ目にカエシを入れて、挿入されにくくするなどが挙げられる。

【図 1】不正防止対策として、全体的に、各所で一体化構造が図られた枠の例
出典：株式会社ニューギン、煌※1 枠取扱説明書、8 頁
を元に改変

※1「煌」：株式会社ニューギンの登録商標